

<美唄> 紀元節復活反対美唄集会

日の丸君が代に反対する理由

2011年2月9日(水)、美唄教会を会場に標記のように「2・11集会」を開催した。主催の実行委員会の構成は、美唄地区連合・美唄教会・北教組美唄支会・美唄市職員労働組合・全道庁美唄地区協議会・平和運動フォーラム空知地域協議会の6団体。講演は「軍国教育と靖国」～私が日の丸君が代に反対する理由～と題して、美唄市議会議員の米田良克さんがほぼ2時間あまり話した。

内容は、まず2010年8月10日の「学校に自由と人権を」の「共同アピール」の紹介から始まった。2003年の都教委の「日の丸・君が代」の強制の通達による処分者430人の最高裁上告を機に、研究者・文化人・宗教者など637人の賛同者のメッセージを中心にした話で、学習指導要領と1999年成立の国旗国歌法以降の東京都の「日の丸・君が代」強制の嵐の実態について語られた。

続いて、2006年の美唄市における入学・卒業式の「教職員の椅子無し」の実態と、美唄市教育長の「起立は教員の職務であり、強制にはならない」と答弁する頑なな姿勢について、米田市議より毎回の「日の丸・君が代」に関する一般質問の状況と、ますます愛国心の強制が強められる道議会の狂気とも言える危険性について述べられた。

さらに、教育基本法改悪以後の子どもたちの内心に踏み込んでの「思想・良心の自由」を骨抜きにする教育行政の指導の実態を報告した。

また、米田市議の子ども時代の美唄における「奉安殿」やご真影など、軍国主義の様子についても触れられた。

講演後の意見交流の中では、北教組美唄支会の方から厳しい状況が報告され、空知地区でただ一校残る卒業・入学式の「君が代」斉唱時の着席分会が圧力に耐え切れるのかとの心配も述べられた。